

## ●一般口頭発表 A-1

3月9日(第1日目) 11:00-11:50 場所: 第1会場(デジタル多目的ホール)

座長 小池 城司(福岡市医師会成人病センター)

- 11:00 A-1-1  
姜 鵬 (九州大学大学院医学系学府医学専攻)  
アムロジピン先発・後発品と高血圧イベント発生に関する生存分析
- 11:10 A-1-2  
原野 由美 (九州大学大学院医学系学府)  
アトルバスタチンの先発品と後発品の効果比較の検討
- 11:20 A-1-3  
竹原 タカシ (株式会社アクアバンク)  
水素吸入が心理、生理機能に及ぼす効果の検討
- 11:30 A-1-4  
足達 淑子 (あだち健康行動学研究所, あだち循環器科内科クリニック)  
乳幼児における睡眠問題の継続性および習慣・行動との関連
- 11:40 A-1-5  
森迫 初美 (九州保健福祉大学大学院・保健科学研究科)  
離床初期における介護量減少と姿勢保持に対するアプローチ

## ●一般口頭発表 B-1

3月10日(第2日目) 9:30-10:30 場所: 第1会場(デジタル多目的ホール)

座長 大河原 一憲(電気通信大学)

- 9:30 B-1-1  
山崎 直輝 (電気通信大学)  
運動プログラム参加中の高齢者における平日と休日の身体活動量—有職者と非有職者との比較検討—
- 9:40 B-1-2  
星野 秀彰 (電気通信大学)  
3軸加速度計を用いた生活活動分類 - 決定木とランダムフォレストの比較検討 -
- 9:50 B-1-3  
中田 由夫 (筑波大学医学医療系)  
リストバンド型活動量計を用いた身体活動介入の実施可能性
- 10:00 B-1-4  
西村 真琴 (筑波大学大学院)  
座位行動に対する即時フィードバックの探索的有効性 -研究デザイン-
- 10:10 B-1-5  
倉田クラン (東京学芸大学大学院教育学研究科)  
小・中学生男女における学年および運動部所属状況と身体活動量との関連

- 10:20 B-1-6

豊嶋 祐也 (東京学芸大学附属国際中等教育学校)

中学生におけるプラステン運動の実施がメンタルヘルスに及ぼす影響とその達成に関連する要因

## ●一般口頭発表 B-2

3月10日(第2日目) 9:30-10:30 場所: 第2会場 (W933)

座長 辻 大士 (千葉大学)

- 9:30 B-2-1

尹 之恩 (筑波大学 体育系)

脳活性化運動プログラムと抗酸化物質の摂取が高齢者の認知機能及び心身機能に与える影響

- 9:40 B-2-2

原田 和弘 (神戸大学)

外出が高齢者の健康関連 Quality of Life に及ぼす影響: 就業状況による差異

- 9:50 B-2-3

城寶 佳也 (筑波大学大学院 体育学専攻)

地域在住高齢者におけるストレッチングの実践習慣と認知機能との関連性

- 10:00 B-2-4

水島 諒子 (筑波大学)

住民主導による健康減量教室の質的分析による課題抽出

- 10:10 B-2-5

渡邊 彩花 (株式会社 健康科学研究所)

超低体力中高齢者における主観的健康度・自立度と運動器機能の関係: 今後の支援策を探る

- 10:20 B-2-6

宮崎 亮 (東亜大学人間科学部)

日常身体活動の時間帯と体内時計機能との関係

●一般ポスター発表 P-1

3月9日（第1日目）17:00-18:00 場所：ポスター会場（メディアホール）

座長 原田 和弘（神戸大学）

- P-1-1  
宮本 恵子 （名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科）  
平均寿命と健康寿命の差に関する国際比較研究
- P-1-2  
朴 相俊 （公益財団法人身体教育医学研究所）  
ソーシャル・キャピタルを活用した地域間比較—理論的枠組みによる検討—
- P-1-3  
石井 敦子 （和歌山県立医科大学保健看護学部）  
健康支援環境としての市場と地域の健康行動との関連
- P-1-4  
横家 将納 （下関短期大学）  
身長が短日に応じて伸びるのならば体重も長日に応じて増えているはず
- P-1-5  
中村 彩希 （首都大学東京大学院）  
成人の野菜摂取行動の変容を予測するプログラム構造—世帯収入別の検討—

●一般ポスター発表 P-2

3月9日（第1日目）17:00-18:00 場所：ポスター会場（メディアホール）

座長 金 憲経（東京都健康長寿医療センター研究所）

- P-2-1  
東野 祐哉 （岡山県立大学）  
局所への急性の冷却温熱刺激が筋硬度に与える影響
- P-2-2  
福田 宗孝 （同志社大学）  
BMI の違いによるメタボリックシンドロームリスク項目および心拍変動自律神経活動項目の差異について
- P-2-3  
沖田 剛輝 （岡山県立大学）  
若年者のトレッドミル歩走行運動中における腕時計型ウェアラブル機器によって評価された心拍数の妥当性
- P-2-4  
尾崎 隼朗 （順天堂大学 スポーツ健康科学部）  
ウォーキングおよび階段昇降運動が下肢の筋厚・筋力と身体機能に与える影響
- P-2-5  
中潟 崇 （順天堂大学スポーツ健康科学部）

自体重レジスタンス運動と郵送型支援システムを用いた運動プログラムが中高齢者のロコモ度に及ぼす影響

- P-2-6

大澤 拓也 (順天堂大学 COI プロジェクト室)

ロコモティブシンドロームの予防・改善を目的とした 18 か月間の運動教室の介入効果

### 一般ポスター発表 P-3

3月9日(第1日目) 17:00-18:00 場所:ポスター会場(メディアホール)

座長 辻本 健彦(筑波大学)

- P-3-1

植木 真 (株式会社健康科学研究所)

運動施設利用者に対する食事熱量の正しい知識の浸透を図った支援の有効性

- P-3-2

木室 ゆかり (福岡大学)

地域在住高齢者における認知機能と身体機能、身体活動及び体力の関係

- P-3-3

若葉 京良 (筑波大学大学院)

ソーシャル・ネットワーク・サービスを活用した体重再増加防止支援の効果

- P-3-4

松下 智子 (九州大学基幹教育院)

大学生のストレス対処能力を高める e-learning 教材試作版の効果測定

- P-3-5

大島 卓馬 (新潟大学大学院)

重炭酸浴は温泉浴に近づけるのか